

Hachioji 5th Junior High School

八王子市立第五中学校

学校だより



第1号

令和8年4月9日(木)

【トピック】

- ・第80回入学式挙行
- ・校長室からのメッセージ
- ・令和8年度の教育活動がスタート
- ・学校運営協議会委員と教職員との懇談会
- ・転入・転出教職員紹介



日本遺産

JAPAN HERITAGE

【教育目標】 心身共に健康 人・地球との共生 未来社会への知性

第80回 入学式が挙行され、158名の新入生を迎えました！



第五中学校
グループ

第五中学校は、第一小学校と第四小学校とともに、
小中一貫教育を合同一体で行っています！

あなたのまちも、
あるけるまち。



- 発行 八王子市立第五中学校
- 住所 八王子市明神町4丁目19-1
- 電話 042-(642)-1633



学校ホームページ
二次元コード

校長室からのメッセージ「入学式式辞」

入学式を迎えられた第五中学校の百五十八名の新入生の皆さん、保護者の皆様、御入学おめでとうございます。心から御慶び申し上げます。

新入生の皆さん、ただ今、一人ひとりの名前が呼ばれ、しっかりと返事をした皆さんの様子を拝見し、そのまっすぐな姿勢の中に、「今日から中学生として頑張ろう」という意気込みを感じました。きっと素晴らしい中学生になってくれると期待しています。また、今日、ここまで育ててくださった保護者の愛情に対して、心から感謝をしなければならないと思います。どうか、今日の日の感激を忘れず、多くの友達とのふれあいを大切に、誰に対しても思いやりの心をもって、明るく、意欲的に、そして誠実に中学校生活を送っていただきたいと思います。

今日より第五中学校の生徒として生活していく上で大切なことを三つ申し上げます。その一つは、授業を大切に、社会で生き抜く力の一つとなる、学力を付けようということです。学校で生活する時間の七割近くは、授業であります。一時間一時間の授業を大切に、しっかりと学力を付けていきましょう。この当たり前のことが、実は大変難しいのです。授業を大切にすることは、毎時間毎時間の授業を真剣に受けていくことなのです。時には習い、時には自ら考え、仲間と対話をしながら考えを深めることが大切です。

「学問に王道なし」といって、学問を身に付けていくのに、この方法が一番というものはありません。あえて申し上げれば、一日一日の着実な積み上げでしか、学力を身に付けることはできないということです。学力を身に付けるには地道な努力しかないことを申し上げておきたい。地道な努力とは、個別最適な学びと言って、学習課題を自己調整して粘り強く取り組んだり、自分の学習進度に応じて自ら学んだりすることです。学問・学力が身に付けば見える景色が変わります。

例えばレストランで水が入ったコップが出されたとしましょう。「算数・数学」を学べば、このコップの中に200mlの水があると数字で見えるようになり、「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることが分かります。「社会」を学べば、この水がどこから来たのかが分かり、そして世界にはこの水さえ、飲むことができない人たちがいることが分かります。「美術」を学べば、その水の反射をきれいに描くことができるようになり、「音楽」を学べば、同じコップでも水の量で音が変わることに気づけます。「技術・家庭」を学べば、このコップがどんな素材で出来ているのか、料理には水が欠かせないということが分かります。「保健体育」を学べば、この水がどのようにして健康を支えているかが分かります。「道徳」を学べば、この水を誰かと分け合う、思いやりの心、そしてその大切さを学べます。「国語」を学べば、今まで述べたことの「全ての意味」を正しく理解できるようになり、「英語」を学べば、学んだことを世界中の人と分かち合えるようになります。このように学問・学力は、全てつながりを持っています。ですから大切なのです。

二つ目は、心を磨こうということです。喜び、怒り、悲しみ、嘆き、慈しみ、労(いたわり)、驚き、感動など、様々な感情は、心がどう作用するか、またどう働くかで決まります。何かをしようとする時、「動機善なりや私心なかりしか」、何かを行う時の動機は人間として恥じないものか、と自らに問うて動機の善悪を判断することです。学校生活では人と人との物理的な距離として大きく離れて生活しているわけではありません。学校生活の中では、何かしらの人間関係のもつれなどは必ず起こります。しかし、すべての人が周りの人に対して、相手を思いやり、大切な存在として慈しみの心が働けば、いじめは起こらない学校や社会になるでしょう。ここに集う一人ひとりが、いじめを許してはなりません。本校はいじめに対しては毅然と指導します。どんな理由があっても、いじめはあってはならないことを肝に銘じてください。特に、「いじめの側が悪いとは限らない」という考えは変えていただきたい。いじめは人権を踏みにじり、人を深く傷つける行為であります。もう一度いいます。本校ではいじめに対しては毅然と指導をします。心得てください。

中学生の時代は、頭髪や服装に気を使うことだけではなくて、人間としてよりよく生きるための価値を学校生活や地域の活動、人と人とのふれあいの中で見出して、入念に心を磨くことが大切な時期なのです。人に優しく、自分に厳しくあれと申し上げたい。そして、人間としてよりよく生きるために必要な価値を見付けなければ、自己の成長はありません。

「人間、三人の友を持って」という言葉があります。「原理原則を教えてくれる友」、「師と仰ぐ友」、そして、「直言してくれる友」の三人です。原理原則とは、基礎的・基本的なことを教えてくれる友です。師とは、自分の人生で目標となり、よりよい道に導いてくれる友です。直言とは、自分のために思い、耳の痛いことも正面から向き合い意見や考えを堂々と伝えてくれる友です。中学校生活の中で、見付け、自己の成長の一助としてください。学校は、社会で生き抜く力を身に付ける場です。今日より三年間、互いに切磋琢磨して、中学校生活を送ってください。

三つ目は、挨拶をきちんと、マナーを身につけようということです。素直な気持ちで、「おはようございます。」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」「ありがとうございます」「ごめんなさい」など、この挨拶がしっかりとできれば、人間関係はうまくいくはずで、そして、マナーは、私たちが社会生活を営んで行く上で、とても大切なものです。授業を大切に、社会で生き抜く力、学力を付けよう。人間としてよりよく生きるための価値を見付け、心を磨こう。挨拶をきちんと、マナーを身につけよう。この三つのことをお話いたしました。

結びにあたり、新入生の皆さんが、社会で生き抜く力、学力を身に付け、心を磨き、人間としてよりよく生きる価値を見出して、成長していくことを期待して、式辞といたします。

令和8年度の教育活動がスタートしました！

○令和8年度始業式及び着任式



着任式の様子

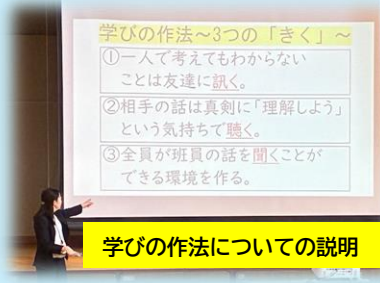
令和8年4月6日(月)に令和8年度始業式と着任式が開催されました。中学校学習指導要領の特別活動には、儀式的行事の内容について、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることと記載があります。

始業式も、着任式も新たな年度の開始に相応しく、凛とした生徒の姿がありました。3年生も2年生も頼もしく見えました。

○学年開き オリエンテーション



第3学年の学年開き



学びの作法についての説明

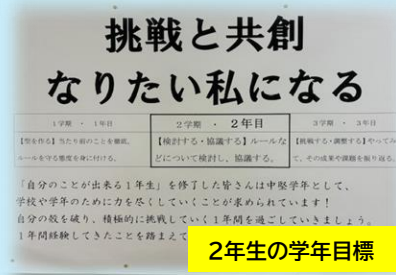
令和8年4月6日(月)に学年開き、学級開きがありました。新担任から、挨拶の後、第3学年では令和8年度からさらに取り組む「授業中の学び合い」についてレクチャーがありました。

第2学年では学年の廊下に掲示された学年の目標を踏まえて、新学級担任から話をしています。この後、各学年で教科書等の配布があります。

新たな気持ちと、前向きな気持ちをもって、新年度の個人の目標を実現して欲しいと願っています。



第2学年の学年開き



2年生の学年目標

学校運営協議会委員と教職員との懇談会開催

【テーマ】 主体的に考える生徒を育てるには
～授業、学校行事、家庭及び地域の観点で～

令和8年4月2日(木)に学校運営協議会委員と教職員が一堂に会し、表記のテーマで熱く語り合いました。

令和8年度に新たに着任された先生の紹介も行われ、充実した時間となりました。

これまでの子育ての経験、一般企業の人材育成、学校教育に携わる思いなど、テーマと関連した語り合いとなりました。今回の懇談会で共有したことを活かして、教育活動を進めます。



令和8年度（2026年度） 異動教職員・着任教職員一覧

本校を去られた先生・職員の皆様、ありがとうございました。
着任された先生・職員の皆様、よろしくお願いいたします。